

令和8年度 県立病院運営評議会 開催概要

1 開催日時

令和8年8月25日（火）午後2時30分～3時30分

2 会場

鳥取県庁特別会議室及びオンライン会議システムにて開催

3 出席者

委員：清水委員（会長）、原委員、石谷委員、安梅委員、黒崎委員、徳田委員、山根委員、河村委員

病院局：萬井病院事業管理者、中西病院局長兼総務課長

中央病院：千酌院長、長岡事務局長

厚生病院：齊藤院長、松本事務局長

4 会議の概要

（1）開会

開会にあたり、出席委員数を確認。

委員全員の出席があり、会議の成立要件を満たしていることを確認した。

病院事業管理者から挨拶を行った後、開会した。

（2）議事

① 病院事業に係る一般会計からの令和7年度交付金繰入状況について

中西病院局長：資料1により説明

② 県立病院経営強化プランの令和7年度進捗状況及び評価について

千酌中央病院長：資料2-1により説明

齊藤厚生病院長：資料2-2により説明

【質疑応答】

<委員>

豪雨のときに電気系統に不具合が生じることもあるが、何か対策はしているか。

<厚生病院長>

厚生病院は、立地的に大きな川に挟まれたところにある。止水板も設置しているが、大きな洪水が起きたときには大変な事態となるため、社会医療法人仁厚会と協定を締結しており、高台にある病院施設に本部を移すことになっている。訓練も行っており、病院機能を他に移して対応していく体制を整えている。

<委員>

一般会計から研究研修費が交付されているが、何に使っているのか。

<病院局長>

電子ジャーナルの購読や知見を得るための学会への参加に必要な旅費など。

<委員>

医師・看護師の研修・教育に使っているのであれば、育てられた職員を県内の医療従事者の教育に活用させてもらってもよいのではないかと思います。

<病院局長>

その点については、両病院とともに考えていきたい。

<委員>

県内で日本脳卒中学会が定める一次脳卒中センター（PSC）コア施設は鳥取大学医学部附属病院のみ。県立病院が、PSCコア施設になると、東・中・西部で脳卒中の治療が安定していく。

<中央病院長>

当院は3次救急患者が運ばれてくる病院であり、現在、東部において機械的血栓回収療法を一手に行っており、PSCコア施設を目指していきたい。

※PSCコア施設…一次脳卒中センター（PSC）のうち、医師の配置や血栓回収治療実績が一定数以上であることや脳卒中相談窓口を設置していること等の基準を満たして日本脳卒中学会に認定された施設。

【経営強化プランの検証・評価について】

県立病院経営強化プランの進捗報告を踏まえた各県立病院の自己評価の内容について、委員から修正意見はなく、報告通りの評価内容で了承された。

③ 令和7年度における県立病院の主なトピックス

千酌中央病院長：資料4-1により説明

齊藤厚生病院長：資料4-2により説明

【質疑応答】

<委員>

中部の方が東部までお産に来られることがある。今のニーズを広く捉え、中部の方は中部で出産できるように、しっかり対応してもらいたい。

<厚生病院長>

受け入れるキャパシティとしては余裕があり、妊婦のニーズを捉えていけないといけないと思うので、病院としてしっかりと御意見を受けとめて対応していきたい。中部の患者は中部で診させていただく体制をとっていく。

<委員>

中央病院の女性に優しい医療の推進について、県内医療機関への広報はどうなっているか。

<中央病院長>

医療機関への広報が遅れ気味になっていて申し訳ない。今後、実績を見ながら具体的な活用例を紹介していきたい。

<委員>

厚生病院がデジタル化への対応でインカムを導入されたとのことだが、時間外の抑制になっているか。

<厚生病院事務局長>

まだ開始したばかりであり、実績が出てきたら御報告したい。

④ その他

委員からの協議事項の提案はなかった。

(3) 閉会

病院事業管理者の挨拶のうえ、議事の終結を宣言し閉会。